

市長提案理由説明

8月29日開催の令和4年太宰府市議会第3回定例会において、楠田市長が議会開会にあたり、挨拶および提案理由説明を述べました。



本日ここに、令和4年第3回太宰府市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変ご多用の中にご参集いただきまして、厚く御礼を申し上げます。さて、心配された出水期ですが今のところ私が就任後初めて福岡県内で特別警報が発出されておらず、本市でも避難情報を発令せずに済んでおり、胸を撫で下ろしております。

豪雨が発生しており、先日は落雷により水城西小学校の空調などが大きな被害を受け現在復旧に全力を挙げております。皆様も引き続きご注意ください。コロナ禍は今なお陽性者が本市でも高止まりしており、着実なワクチン接種やいち早く開始した陽性者や濃厚接触者に対する食料・生活物資支援などを行っているところです。

幅な恒久引下げを実現した下水道使用料について、続く原油高物価による影響を緩和するため年末の入り用の時期の1か月無料化の提案をしております。

9月議会補正予算

下水道使用料の1か月分無料化

下水道事業関係費 101,000千円

●コロナ禍における原油価格・物価高騰等を下支え

1か月分の下水道使用料を全額免除

更には、小中学校給食のミルク代無料化や保育所等の給食の質を維持するための費用、全事業者への燃料費の助成など家計や経営の固定費を軽減する予算を提案しております。

9月議会補正予算

保育所等・市立小中学校への給食支援

市立保育所管理運営費、教育・保育施設費 14,400千円
学校教育運営費 47,256千円

●コロナ禍における原油価格・物価高騰等を下支え

小中学校給食のミルク代を無料に経済的負担を増やさずに給食の質を維持

9月議会補正予算

事業者へのガソリン代等高騰支援

商工振興費 44,000千円

●コロナ禍における原油価格・物価高騰等を下支え

事業者の経済的負担を軽減 事業継続支援

その他コロナに係る緊急支援策として、市民の安心安全を確保するための全公民館へのAED配備費用、FM等活用により観光、渋滞、コロナ関連情報等を広く発信する費用、子ども食堂を運営する団体等への支援として食材の保管等を行う冷蔵庫を設置する費用、男性トイレにサニタリーボックスを設置する費用などを計上提案しております。

9月議会補正予算

全公民館へのAED配備

災害対策関係費 12,284千円

●コロナ禍における医療体制のひっ迫

一次救命処置用装置(AED)を身近な場所に配備

9月議会補正予算

子ども食堂用冷蔵庫の設置

生活困窮者自立支援関係費 950千円

●子どもの居場所づくりに取り組む子ども食堂運営団体など

9月議会補正予算

FM等活用による観光、渋滞、コロナ関連情報発信

観光宣伝費 3,000千円

●コロナ禍における観光客の不安
●観光事業の冷え込み

FMラジオなどのメディアを活用 → 発着時における感染対策情報や交通情報、観光情報などを広く発信

9月議会補正予算

男性トイレへのサニタリーボックス設置

庁舎維持管理費 220千円

●コロナ禍において、衛生管理が重要視されている
●扉開けパッドやおむつを使用する人のため

市内公共施設の男性トイレにサニタリーボックス(汚物入れ)を設置

引き続き国・県とも緊密に連携し、重症化リスクの高い高齢者をはじめ皆様の命と健康を守るための取組に全力を挙げて参りますので、皆様の引き続きの対策をお願い致します。また、認定案件であります令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算は、コロナ禍を乗り越え一期末の最終年度として公約を実現すべく、全力で駆けつけた集大成の決算であります。その結果としまして、意欲的なコロナ対策を大胆に実施しつつコロナ禍の影響で大幅な減収が懸念された市税も微減にとどめ実質収支は21億余の黒字決算とすることができました。

また、ふるさと納税は、返礼品の拡充や積極的広報、企業版ふるさと納税の開始などに取り組み、倍増となる約4億7千万円の大増を成し遂げ、9億円を超えるまでに至りました。



歳出につきましては、生活道路の改良事業の拡大、「にしのみどぐち」開設や証明書のコピー交付の開始、子育て



て世代包括支援センターの開設など特に市民生活の向上に注力しました。一期末の最終決算を経て、未来への備えとして過去最高の基金残高を記録し、将来へのつぎを可能な限り残さないよう市債も着実に減らすことが出来たことは本望であります。そして、6月議会以降も各種施策を鋭意進めております。

活用したカラーマンホールカード配布を開始しました。更なる回遊性の向上を図って参ります。7月22日には、念願の「太宰府市文化財保存活用地域計画」が文化庁長官より認定されました。世界に冠たる令和の都太宰府に向け更なる飛躍を図る上で不可欠の計画となります。



本市の文化財の主要要素である大宰府関連史跡群や日本遺産、太宰府天満宮とその門前、市民遺産などを相互に連携させ、官民連携により更なる保存や先進的多用途活用を図ります。7月末には、約500人の市内外の皆様が参加されるなか96年の歴史を誇るラジオ体操が市制施行40周年を記念して大宰府政庁跡からNHKラジオで全国中継されました。

元号令和発祥の地でもある会場の大宰府政庁跡には当日はまさかの虹も出て、1300年の時空を超えてこの地がNHK全国放送の発信地となりました。今月頭からは1階市民課窓口待合状況閲覧システム運用が開始され、待合状況の見え方や遠隔確認が可能となりました。うれしいことに、若手の発案によるゼロ予算での実現です。

贈呈することが出来ました。今後は彼らと市内の子どもや学生たちとの交流を仲立ちし、戦争の現実や平和の大切さを知り、未来の両国の懸け橋となってもらような取組を進めて参ります。姉妹都市友好都市との交流につきましては、20周年を迎える奈良市とは現地で10周年を迎える扶餘郡とはオンラインでそれぞれトップ対談を行いました。更なる連携を目指します。

今後も引き続き、「令和の都さらけ」に羽ばたく「太宰府」の実現に向け私力を出し尽くす所存でありますので、皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。